

③ 「深まりのある話し合い活動」の学年別系統表

学年	目 標	話 型	留 意 点
低学年	自分の考えをはっきりと最後まで述べることができる。	「わたしは〇〇だと思います。」 「〇〇は△△です。」	主・述のはっきりした話し方をさせる。
中 学 年	提案、示唆、要求、疑問、確認など話し合いの方向を決める発言ができる。	「〇〇のところをもう一度説明してください。」 「例をあげて話してください。」 「〇〇のところはわかりません。」 「〇〇はこうということでしょうか。」 「まとめてください。」 「初めの方はわかりましたが、〇〇のところはわかりません。」 「それはなぜですか。」 「〇〇というのは〇〇ですね。」	提案、示唆、要求は低学年の活型を活用させる。 結学年では話し手の意見をよく聞き、疑問点を質問させ、話し合いを深化させるための共通理解を図る。
高 学 年	説明、報告、批判、修正など話し合いを深める発言ができる。	「〇〇だと思います、それは△△だからです。」 「第1に〇〇第2に△△です。」 「いちはんたいせつな問題は〇〇です」「なぜ〇〇なのかといえます△△だからです。」 「まとめていうと〇〇です。」 「わたしは〇〇だと考えます。どうでしょう。」	結論を先に言ったり内容を整理したり、問題を焦点化させる話し方の高度な技術を使って聞き手が論旨を容易に理解できるようにさせる。

⑤ 実践記録のまとめ

ア、授業の記録（全時間録音—再生—分析）

○ 発言の内容の類別

- ・角度（提案、示唆、要求、疑問、確認、質問）
- ・深度（説明、報告、批判、修正）
- ・進度（概括、反省、賛成、希望、反対、不満）
- ・形式（指名、応答、あいさつ）

イ、発言内容の種類別回数

ウ、発言回数と時間

エ、事前、事後研究会の話し合いの記録の整理

カ、考察（授業テーマ、助言、話し合いの運営等）

<実践例> 第5学年 昭和55年7月3日

○ 授業テーマ「全員参加の話し合い活動の展開」

1. 議題名 「1学期の誕生会を楽しくやろう」
2. 指導計画 話し合いの活動—½（本時）
3. 本時のねらい 計画立案
4. 話し合いの進め方

④ 「話し合いの活動」の基本過程

活動過程	教師の助言・指導	
意識化	1. 問題を発見する。 2. 問題や要求を提出する。	・議題箱を活用させる。 ・個人の日記、班の日記から問題に気づかせる。 ・児童との対話から個人の問題意識を刺激する。
共通化	3. 問題を整理する。 4. 議題を精選する。 5. 議題の計画を作成する。 6. 議題を決定する。 7. 実施計画を作成する。 8. 議題を予告する。	・計画委員会において、緊急性、重要性、共通性、可能性の観点から問題を整理し議題の計画をつくらせる。 ・提出された問題をきちんと処理させる。 ・話し合いのめあてを明確にし、見通しを持たせる。 ・話し合いの活動の数日前に予告できるように計画をたてさせる。
個別化	9. 議題のめあてを理解する。	・学級会ノートに自分の意見をまとめさせる。 ・個別指導により、児童の考えの修正を促したり、課題意識を高めさせる。
目的化	10. 議題の確認をする。 11. 提案理由を説明する。 12. 質疑応答をする。	・何をどうしたいのか、理由、現状をはっきり発表させる。
深化	13. 意見を拡充する。 14. 意見を集約する。 15. 解決方法を発見する。 16. 決定事項を確認する。	・2人組の話し合いなど活動形態に変化をもたせ、めあてにそって多様な意見が出せるようにさせる。 ・話し合いがねらいにそって円滑に展開するように司会の進行を援助する。
意識化	17. 自己評価をする。 18. 教師の助言・指導を聞く。	・児童ひとりひとりの参加態度を賞賛し、実践意欲を高める。
実践化	19. 実践する。 20. 実践の結果をまとめる。 21. 反省をする。	・決定事項が守れるように配慮する。 ・議題のめあてに添っていたか反省させる。

活動過程	指導上の留意点(※テーマとの関連)
1. 学校の歌を歌う。 2. 議長、記録を確認する。 3. 開会のあいさつをする。 4. 議題を確認する。 5. 提案理由を説明する。 6. 話し合いの順序を確認する。 7. 話し合いをする。	5分 ・大きな声で元気に歌い楽しい雰囲気を作り上げる。 ・計議委員に発表させる。 ・進行についての協力と録音宣言をさせる。 ・議長にはっきり発表させる。 ・…今の時期に話し合わなければならない…… ・議長に確認させ、全員の同意を得る。 ◆話し合いが行き詰ったときは…2人組の話し合い…
8. 記録の発表をする。 9. 閉会のあいさつをする。 10. 学級会ノートをまとめる。 11. 先生の話聞く。	35分 5分 ・進行への協力の確認と閉会宣言をさせる。 ・反省を記入させる。 ・ひとりひとりの話し合い活動への参加態度等を賞賛し実践意欲を高める。

5. 評価 全員が自分の考えを持って参加できたか
6. 授業の記録

発言番号	児童番号	話し合いの記録	発言内容
52	L	○次に出し物。だれとやるか決めたいと思います。出し物は何がいいですか。たまみさん。	提案
53	10	○ゲームなどを持ってきてやればいいと思います。	要求
54	L	○そのほかありませんか。さゆりさん、ありませんか。	指示
55	11	○私はたまみさんの意見に反対で歌やおどりがいいと思います。あー、歌や合奏がいいと思います。	反対
56	L	○そのほかにも意見はありませんか。順二君、ありませんか。	指示
57	7	○ぼくはゲームを持ってきてやりたいと思います。	賛成
58	L	○秋好君、ありませんか。	指示
59	4	○ぼくもたまみさんの意見に賛成で、ゲームを持ってきてやりたいと思います。	賛成
60	L	○たまみさんに反対意見はありませんか。2人組で話し合ってください。	指示

7. 反省と考察

(1) 学級の全児童が発言し、活発な話し合いが展開された。特に、消極的な性格で発言力の乏しいC₁男とC₂女が、疑問や要求などの発言ができたことは、学級会活動への参加意欲が向上したと考えられる。しかし、発言内容は、角度に偏っており、話し合いの深まりは見られなかった。